

事業の概要

担当課：都市整備課

事業名	街路づくり事業		事業主体	栃木県						
事業箇所	那須塩原都市計画道路3・4・8号藤原西那須野線 五軒町工区 那須塩原市五軒町一丁目～那須塩原市五軒町四丁目									
事業の目的、事業発案の経緯・背景	<p>本都市計画道路は、JR宇都宮線西那須野駅を起点として、国道4号と交差し、東北自動車道西那須野塩原ICを結ぶ幹線道路であり、市街地の骨格を形成する重要な路線である。</p> <p>本路線は、JR西那須野駅西口の中心市街地に位置し、沿道には商店や住宅が連立しているが、歩道が狭隘であり、電柱も乱立していることから、安全で円滑な通行空間の確保、及び良好な街なみ景観の形成が求められている。</p> <p>このため、本事業は現道を拡幅し、電線類を地中化することで、安全で円滑な通行空間を確保するとともに、良好な街なみ景観の創出を図るものである。</p>									
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路3・4・8号藤原西那須野線と整合した、現道を拡幅する計画である。 ・総延長：500m ・計画交通量：9,500台/日 ・道路区分：第4種第2級 ・車線数：2車線 ・標準幅員：15.0m（車道3.0m×2、歩道3.0m×2、自転車通行帯1.5m×2） 									
事業予定期間	令和4年度～令和10年度（予定） 【事業スケジュール（予定）】 用地調査：令和4年度～ 用地取得：令和5年度～令和7年度 工事実施：令和6年度～令和10年度	事業見込額及び内訳	<table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>約12億円</td> </tr> <tr> <td>事業費内訳</td> <td> 測量設計費：約1億円 用地補償費：約5億円 工事費：約6億円 </td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td> 国費：55% 県費：45% </td> </tr> </table>	総事業費	約12億円	事業費内訳	測量設計費：約1億円 用地補償費：約5億円 工事費：約6億円	財源内訳	国費：55% 県費：45%	
総事業費	約12億円									
事業費内訳	測量設計費：約1億円 用地補償費：約5億円 工事費：約6億円									
財源内訳	国費：55% 県費：45%									
事業概要図	別紙記載									
県計画への位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・「県土づくりプラン2021」：重点施策「誰もが安全で安心して利用できる道づくり」として位置づけられている。 ・「栃木県無電柱化推進計画」：安全・円滑な交通確保、景観形成の観点から必要な道路として位置づけ予定である。（R3年度末） ・「栃木県国土強靱化地域計画」：幹線道路の無電柱化箇所として位置づけ予定である。（R3年度末） ・「那須塩原都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」：拠点地区間や周辺地域との移動や連携の促進を図る都市内連携軸に位置づけられている。 									
他計画・他事業との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「那須塩原市都市計画マスタープラン」：魅力ある中心市街地の景観形成を目標とした、整備すべき幹線道路に位置づけられている。 ・「バリアフリー法に基づく特定道路」：高齢者、障害者等の移動円滑化が必要な道路として位置づけられている。 ・「（都）藤原西那須野線 永田町工区」：同都計路線の南側隣接区間において、平成26年度に事業完了。 									

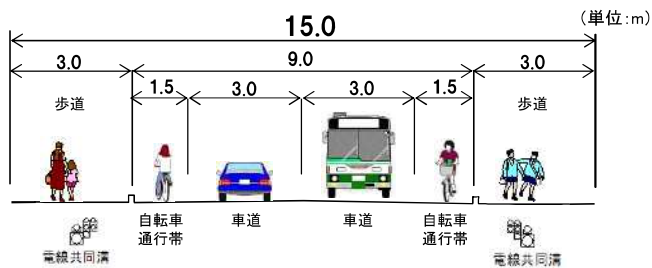
事業の評価

評 価 の 視 点	1. 事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 都市の骨格を担う道路として、都市計画決定された道路である。 歩道が狭隘で電柱も乱立する危険な状況であることから、歩行者・自転車の安全を確保する必要がある。 JR西那須野駅を中心とした、良好な街なみ景観を創出する必要がある。
	2. 事業の適時性 (今事業に着手する理由等)	<ul style="list-style-type: none"> JR西那須野駅から国道4号までの区間において、安全で円滑な通行空間の確保、良好な街なみ景観の創出を図るため、本事業を実施することで、一連区間として道路の整備効果を高める必要がある。
	3. 事業の適地性	<ul style="list-style-type: none"> ルート等は、都市計画道路3・4・8号藤原西那須野線と整合する計画である。
	4. 事業手法の適切性 (県が事業主体となる理由等)	<ul style="list-style-type: none"> 県道西那須野停車場線であり、道路管理者として県が事業を実施する。
	5. 事業により予想される効果及び影響 <ul style="list-style-type: none"> 機能的な効果 経済的な効果 他計画、他事業への波及効果 環境への影響など 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道、路肩の拡幅及び無電柱化を実施することで、歩行者・自転車の安全で円滑な通行空間が確保される。 無電柱化を実施することで良好な街なみ景観が創出される。
	6. 事業コスト縮減等の可能性	<ul style="list-style-type: none"> 無電柱化の低コスト手法（浅層埋設、小型ボックス等）の活用によりコスト縮減を図る。 再生材の利用や、建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。
事業の対応方針(案)		本事業については、令和4年度より着手する。

事業概要図



【標準横断図】



①歩道および自転車通行空間が狭隘、電柱が乱立



②永田町工区（整備済区間）

